



公式ケータイサイト  
<http://fctokyo.sportsinfo.jp>



<https://twitter.com/fctokyoofficial>



<https://www.facebook.com/fctokyo>



<http://line.me/ti/p/@fctokyo>



<https://www.instagram.com/fctokyoofficial>



<https://www.youtube.com/user/fctokyochannel>

<http://www.fctokyo.co.jp>

# ACTIVITY REPORT 2017

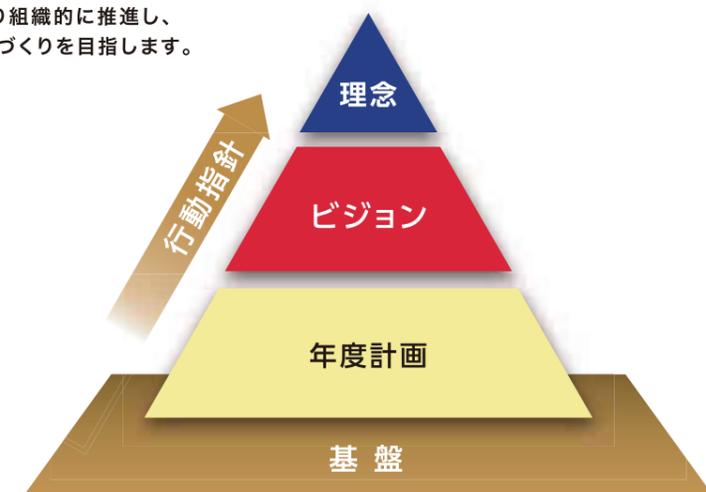


# BASIC PHILOSOPHY

## FC東京の基本理念

次に掲げる理念の具現化を地域社会・行政・企業の協力体制により組織的に推進し、長期的な視点から真の「都民のための地域密着型Jリーグクラブ」づくりを目指します。

- 1 サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達および都民の健康や喜びづくりに寄与し、スポーツ文化の振興ひいては地域社会の発展、国際交流・親善に貢献する。
- 2 将来的には、サッカー以外のスポーツを含め、競技スポーツとレクリエーションの両分野で地域社会に貢献できるような「生涯スポーツ」を視野に入れたクラブを指向し、これをJリーグクラブの組織づくりをベースとし、その発展・拡大により実現していく。
- 3 都民のシンボルとなり、青少年に夢を与える首都東京に相応しいサッカーチームを育て、多くの都民のファンをつくり、都民の連帯感（地域社会への帰属意識）の醸成・地域社会の活性化に寄与する。
- 4 サッカークリニック・サッカースクール・各種イベントを中心に、学校や各地域におけるサッカー活動との連携・協力を図り、青少年をはじめ都民各層に対するサッカーの指導・普及活動に努める。



## 2020 VISION

# SO THAT TOKYO SHINES

～東京が輝くように～

ファン・サポーターをはじめとしたステークホルダーのみなさまに  
 “より価値のあるもの”を提供していくために、クラブの従来のイメージを打破し、  
 FC東京が強く、先進的かつダイナミックなクラブとして変わっていくこと、  
 そしてホームタウンで開催される東京2020オリンピック・パラリンピックが成功し、  
 『東京』が光り輝くように！

### 強く、愛されるチームの輝き

アジアトップレベルの育成体制、  
 そして、アジアで戦えるチームに  
 進化していきます。

#### アジアトップレベルの育成体制の構築

#### J1リーグ戦制覇、アジア制覇の実現

### FC東京ブランドの輝き

FC東京ファミリー  
 (FC東京に関わるすべてのみなさま)の  
 喜びにつながる価値を提供していきます。

#### FC東京ファミリーの拡大

#### スタジアム環境のさらなる充実

#### FC東京ブランド価値の向上

### ホームタウン東京の輝き

地域のみなさまに愛され  
 必要とされる存在となり、  
 東京2020オリンピック・パラリンピック  
 に貢献していきます。

#### 地域コミュニティへの貢献

#### 東京2020オリンピック・パラリンピックへの貢献

### 具体的数値目標



# 強く、愛されるチームをめざして



東京フットボールクラブ株式会社  
 代表取締役社長  
 大金 直樹

ごあいさつ

日頃よりFC東京にご多大なるご支援、ご声援を賜りありがとうございます。  
 2017シーズンはJ1リーグ10勝10分14敗で13位、ルヴァンカップや天皇杯でもタイトルを獲得することが叶いませんでした。2年続けて成績・内容ともに満足いく結果が出せず、その責任を重く受け止めています。

勝つこと、強いチームを構築することは簡単なことではありませんが、現状をどうしたら上向きにできるのかをクラブ全体で受け止め、考えていかなければなりません。攻守に支配し、最後まで諦めないサッカーを再び取り戻し、サッカーそのものをもう一度見直していく必要があります。もちろん、その想いだけでは何も変わりませんので、強化体制や組織など様々な側面での変化も踏まえつつ、来シーズンに向けて準備をしております。

石川直宏選手や徳永悠平選手など、クラブを代表するような選手が去っていく一方で、平川伶選手や久保建英選手といった10代の選手がプロ契約という新しいキャリアを踏み出しました。アカデミーからJ3リーグ、J1リーグと活躍の場を広げていく中で、将来のクラブを背負う人材として、よりいっそうFC東京への愛や誇りを持った選手が出てくることを期待しています。

育成の観点から考えると、クラブ内だけでなく、アジア各国との連携を深めていくことにも尽力していきたいと考えています。業務提携を締結しているタイのバンコクユナイテッドFCとは、ジャキット選手の加入やFC東京

U-18への練習受け入れなどを実施してきました。首都・東京のクラブとして、他の首都クラブとも連携を加速させ、アジアにおけるFC東京の価値を高めていきたいと思っております。そして育成型クラブとして、2020年に開催される東京オリンピックへFC東京の選手を輩出することは一つの役割だと考えています。2017シーズンはブラインドサッカー日本代表としてアカデミーコーチの榎本達也が選出され、パラリンピックもより身近な存在となりました。FC東京に寄せていただいている期待に添えるよう、地域のみなさまとともに盛り上げ、取り組んでいきたいと思っております。

最後に、2018年にFC東京は20周年を迎えます。一つの通過点ではありますが、ご来場者数、SOCIOやクラブサポートメンバー、スクール生の数も増え、この20年でクラブは成長してきました。これもひとえにみなさまのご支援・サポートによるものであり、深く感謝申し上げます。ただ、現状に満足することなく、もっともっと強く、クラブが大きくなっていくように、原点である「強く、愛されるチームをめざして」、覚悟と責任を持って、タイトル獲得を目指して戦ってまいります。

今後ともFC東京へ変わらぬご支援、ご声援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

## 会社概要

### 会社名

東京フットボールクラブ株式会社  
 TOKYO FOOTBALL CLUB Co., Ltd.

### 創立

1998年10月1日(都民の日)

### 所在地

[本社]  
 〒135-0003  
 江東区猿江2-15-10  
 [TEL]03-3635-8985  
 [FAX]03-3635-8974

[小平グラウンド]

〒187-0001  
 小平市大沼町3-14-1  
 東京ガス武蔵野苑内  
 [TEL]042-342-8950  
 [FAX]042-342-8973

[味の素スタジアム事務所]

〒182-0032  
 調布市西町376-3  
 味の素スタジアム内  
 [TEL]042-488-6255  
 [FAX]042-488-6253

### 主な事業

1. プロサッカーチーム「FC東京」の運営  
 (1999年よりJリーグディビジョン2に加盟)
2. サッカースクールおよびサッカーの普及活動
3. チームのオリジナルグッズの製作・販売

### 資本金

1,137,000,000円  
 (2018年1月31日時点)

### エンブレム





# FC東京の歩み

東京ガスフットボールクラブを前身に、99年「FC東京」としてJリーグに参入。以来都民のためのJクラブとして、念願のリーグ戦タイトル獲得を目指しています。

## ■クラブの歴史

- 1935年 前身である東京ガスフットボールクラブ創部。
- 1986年 東京都リーグより関東リーグに昇格。
- 1991年 全国地域リーグ決勝大会で優勝。JSL2部へ昇格を果たす。
- 1992年 JFLに加入。
- 1997年 天皇杯でJリーグ勢を3連破し、準決勝へ進出。
- 1998年 JFL念願の初優勝を飾る。Jリーグディビジョン2(J2)に参入決定。東京フットボールクラブ株式会社を設立し、東京初のJリーグクラブが誕生。
- 1999年 ヤマザキナビスコカップベスト4進出。J2リーグ戦では2位の成績で、1年でJ1昇格を決める。
- 2000年 J1初めてのシーズン。1stステージ6位、2ndステージ8位。総合7位。
- 2001年 東京スタジアム(現 味の素スタジアム)開業。
- 2004年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、浦和レッズにPK戦の末勝利し、念願のクラブ初タイトルを獲得。
- 2008年 クラブ創立10周年を迎える。第32節まで優勝の可能性を残すも、J1リーグ戦6位でシーズン終了。ヤマザキナビスコカップベスト8。天皇杯ベスト4。
- 2009年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、川崎フロンターレに勝利し、クラブ2つ目のタイトルを獲得。チームマスコット「東京ドロンパ」が登場。
- 2010年 J1リーグ戦で16位となり、J2降格。「2010 Jリーグアウォーズ」の最優秀育成クラブ賞を受賞。
- 2011年 J2リーグ戦で優勝、1年でのJ1復帰。第91回天皇杯で初優勝、AFCチャンピオンズリーグ(ACL)出場権獲得。
- 2012年 FUJI XEROX SUPER CUP 2012に初出場。ACLラウンド16に進出。J1リーグ戦10位。
- 2014年 J1リーグ戦9位。リーグ戦においてクラブ新記録である14試合無敗を達成。
- 2015年 2ステージ制の導入。J1リーグ戦1stステージ2位、2ndステージ6位。年間4位。ヤマザキナビスコカップベスト8。天皇杯ベスト8。ACLプレーオフ出場権を獲得。
- 2016年 ACLラウンド16進出。J1リーグ戦1stステージ9位、2ndステージ9位、年間9位。ルヴァンカップベスト4。天皇杯ベスト8。FC東京U-23を編成、J3リーグ10位。
- 2017年 J1リーグ13位、J3リーグ11位、ルヴァンカップベスト8、天皇杯2回戦敗退。「2017 Jリーグアウォーズ」最優秀育成クラブ賞、フェアプレー賞を受賞。

## ■2017年の戦績

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差
1	川崎フロンターレ	72	21	9	4	71	32	39
2	鹿島アントラーズ	72	23	3	8	53	31	22
3	セレッソ大阪	63	19	6	9	65	43	22
4	柏レイソル	62	18	8	8	49	33	16
5	横浜F・マリノス	59	17	8	9	45	36	9
6	ジュビロ磐田	58	16	10	8	50	30	20
7	浦和レッズ	49	14	7	13	64	54	10
8	サガン鳥栖	47	13	8	13	41	44	-3
9	ヴィッセル神戸	44	13	5	16	40	45	-5
10	ガンバ大阪	43	11	10	13	48	41	7
11	北海道コンサドーレ札幌	43	12	7	15	39	47	-8
12	ベガルタ仙台	41	11	8	15	44	53	-9
13	FC東京	40	10	10	14	37	42	-5
14	清水エスパルス	34	8	10	16	36	54	-18
15	サンフレッチェ広島	33	8	9	17	32	49	-17
16	ヴァンフォーレ甲府	32	7	11	16	23	39	-16
17	アルビレックス新潟	28	7	7	20	28	60	-32
18	大宮アルディージャ	25	5	10	19	28	60	-32

※下位3チームがJ2リーグ降格。  
※2018シーズンから湘南ベルマーレ、V・ファーレン長崎、名古屋グランパスがJ1リーグ昇格

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差
1	ブラウブリッツ秋田	61	18	7	7	53	31	22
2	栃木SC	60	16	12	4	44	24	20
3	アスルクラロ沼津	59	16	11	5	60	27	33
4	鹿児島ユナイテッドFC	55	17	4	11	49	37	12
5	AC長野パルセイロ	50	13	11	8	34	25	9
6	FC琉球	50	13	11	8	44	36	8
7	藤枝MYFC	47	12	11	9	50	43	7
8	カタレ富山	47	13	8	11	37	33	4
9	ギラヴァンツ北九州	46	13	7	12	44	37	7
10	福島ユナイテッドFC	43	13	4	15	39	43	-4
11	FC東京U-23	43	12	7	13	36	47	-11
12	SC相模原	39	9	12	11	34	41	-7
13	セレッソ大阪U-23	35	8	11	13	39	43	-4
14	Y.S.C.C.横浜	32	8	8	16	41	54	-13
15	グルージャ盛岡	29	7	8	17	32	49	-17
16	ガンバ大阪U-23	26	7	5	20	31	65	-34
17	ガイナレ鳥取	21	4	9	19	31	63	-32

※2018シーズンから栃木SCがJ2リーグ昇格

節・戦	開催日	対戦相手	スコア	会場
【グループステージ】				
1	3/15(水)	ベガルタ仙台	○6-0	味の素スタジアム
2	※休み節			
3	4/26(水)	ジュビロ磐田	●1-3	ヤマハスタジアム(磐田)
4	5/3(水祝)	北海道コンサドーレ札幌	○1-0	味の素スタジアム
5	5/10(水)	大宮アルディージャ	○4-3	味の素スタジアム
6	5/24(水)	柏レイソル	○1-0	日立柏サッカー場
7	5/31(水)	清水エスパルス	●1-2	IAIスタジアム日本平
【プレーオフステージ】				
1	6/28(水)	サンフレッチェ広島	○1-0	エディオンスタジアム広島
2	7/26(水)	サンフレッチェ広島	○1-0	味の素スタジアム
【ノックアウトステージ】				
QF1	8/30(水)	川崎フロンターレ	●0-2	等々力陸上競技場
QF2	9/3(日)	川崎フロンターレ	●1-5	味の素スタジアム

回戦	開催日	対戦相手	スコア	会場
2	6/21(水)	AC長野パルセイロ	●1-1(4PK5)	味の素スタジアム

1999  
▲ J2リーグ戦を2位で終え、J1に昇格

2004  
▲ ヤマザキナビスコカップ優勝(2回目)

2009  
▲ J2リーグ戦優勝でJ1に復帰  
▼ 第91回天皇杯初優勝

2017  
▲ 2017シーズン



# 2017 TOPICS

## 01 2017シーズン トップチーム



篠田善之監督のもと、「TOKYO GRIT～すべての力を～」をチームスローガンに据え、2017シーズンがスタート。9月には安間貴義コーチが監督に就任し、10勝10分14敗の成績を収めた。

## 03 久保選手 Jリーグ最年少得点記録更新



©J.LEAGUE

4月15日 セレッソ大阪U-23戦において、久保建英選手が15歳10ヶ月11日でJリーグ最年少得点記録(当時)を更新。

## 05 前田選手 J1リーグ戦通算400試合出場達成



8月9日 大宮アルディージャ戦において、前田遼一選手がJ1リーグ戦通算400試合出場を達成。FC東京在籍の現役選手としては初めての記録。

## 07 U-20ワールドカップ、U-17ワールドカップに出場



波多野豪選手と久保選手は、U-20日本代表メンバーとしてFIFA U-20ワールドカップ韓国2017に出場。久保選手は平川伶選手とともに、FIFA U-17ワールドカップインド2017にも参加。世界での経験を積み、久保選手、平川選手は11月にプロ契約を締結、トップチームに昇格した。

## 02 ブラインドサッカー日本代表に選出



昨シーズンまでトップチームに所属し、2017シーズンからアカデミーコーチを務める榎本達也がブラインドサッカー日本代表に選出。12月に開催されたIBSAブラインドサッカーアジア選手権2017に出場した。

## 04 『2017 FC東京ドイツ遠征 presented by DMM.com』実施



7月17日～7月21日に『2017 FC東京ドイツ遠征 presented by DMM.com』を実施。FCアウクスブルク、1.FSVマインツ05と親善試合を行い、夏場の強化に励んだ。

## 06 代表選出



SAMURAI BLUE(日本代表)に、室屋 成選手、森重 真人選手、高萩 洋次郎選手、林 彰洋選手が選出。また韓国代表にチャン ヒョンス選手、U-23タイ代表にジャキット選手が選ばれた。

## 08 石川選手 現役引退



2002シーズンよりFC東京に在籍した石川直宏選手が、2017シーズンをもって現役を引退。クラブを代表する選手としてピッチ内外で活躍を続けた「スピードスター」。



# ホームタウンの紹介

チームにご出資いただいている府中市、三鷹市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市をはじめ、東京都全域をホームタウンとし、日々活動しています。

## 事務所 アカデミー

- A 東京フットボールクラブ(株)本社**  
江東区猿江2-15-10  
【TEL】03-3635-8985  
**FC TOKYO U-15 深川**  
江東区猿江2-15-10
- B FC東京 小平グランド**  
小平市大沼町3-14-1  
東京ガス武蔵野苑内  
【TEL】042-342-8950  
**FC TOKYO U-18**  
小平市大沼町3-14-1
- C 味の素スタジアム事務所**  
調布市西町376-3  
味の素スタジアム内  
【TEL】042-488-6255
- D FC TOKYO U-15 むさし**



## スタジアム



**味の素スタジアム**  
調布市西町376-3

## フットサル場



**FC東京パーク**  
府中市宮町1-41-2 伊勢丹屋上  
【TEL】042-314-1380

## FC TOKYO U-23 スタジアム



**味の素フィールド西が丘**  
北区西が丘3-15-1



**江東区夢の島競技場**  
江東区夢の島1-1-2



**駒沢オリンピック公園  
総合運動場陸上競技場**  
世田谷区駒沢公園1-1

## 指定管理者



**I 上井草スポーツセンター**  
杉並区上井草3-34-1  
【TEL】03-3390-5707



**J 小金井市総合体育館**  
小金井市関野町1-13-1  
【TEL】042-386-2120



**K 小金井市栗山公園  
健康運動センター**  
小金井市中町2-21-1  
【TEL】042-382-1001



**L 妙正寺体育館**  
杉並区清水3-20-12  
【TEL】03-3399-4224



# 2017シーズン ホームタウン活動



**地域イベント** 年間で38回の地域イベントに参加し、子どもたちに人気のキックターゲットは延べ6,925名にお楽しみいただきました。また、23区内では、渋谷や池袋などで選手によるトークイベントも開催。ホームタウンのみならず、コミュニケーションを図ることで、より良い関係づくりを目指しています。



## 選手会小学校訪問

「FC東京を身近に感じてもらうとともに、サッカーを通じて夢や希望を与えたい」という想いで、選手会が企画・実施している小学校訪問は今年で10回目。東京都内の小学校を訪問し、約1,100名の子どもたちと触れ合いました。



**選手商店会巡回** 日頃よりご支援・ご協力いただいている商店会を選手が訪問し、感謝を伝える毎年恒例の「選手商店会巡回」。今年は55箇所の商店会を訪問し、サイン会の実施や地域のみならずから激励の言葉をいただきました。



**6市訪問** クラブに出資いただいている府中市、三鷹市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市を表敬訪問。子どもたちによるセレモニーや花束をいただきました。

## チラシ配布

ホームゲーム前にスタッフがユニフォームを着用して駅頭に立ち、試合告知のチラシを配布。開幕前には2017シーズン新加入選手や石川直宏選手が参加し、通行人のみならずチラシをお渡ししました。



**ホームゲームでのPRブース** ホームタウンの魅力を発信するPRブースをホームゲームの際に出店しました。2017シーズンは三鷹市、調布市、小平市がそれぞれの特産品などを販売・紹介。





# スタジアム

## 味の素スタジアム

住所 東京都調布市西町376-3  
 電話番号 042-440-0555  
 収容人数 49,970人



## マッチイベント

スタジアムのワンダーランド化を目指し、様々なイベントを実施。7月8日鹿島アントラーズ戦では『ローソン Day』を開催し、オリジナルの応援グッズとローソン商品がついた「ローソン Day 特別観戦チケット」の販売や「からあげクンのマスコットキャラクター」が来場し、みなさまに試合観戦を楽しんでいただける企画を実施。また、この鹿島戦では、2017シーズン最多ご来場者数の42,979人を記録しました。



ご来場者数  
4万人超

## 2017年 マッチイベント実施報告

開催日	対戦相手	イベント名
3/15 (水)	ベガルタ仙台	ルヴァンカップキッズイレブン
3/18 (土)	川崎フロンターレ	第29回多摩川クラシコ
4/16 (日)	浦和レッズ	ENEOS Day
5/3 (水祝)	北海道コンサドーレ札幌	ルヴァンカップキッズイレブン
5/10 (水)	大宮アルディージャ	ルヴァンカップキッズイレブン
5/14 (日)	柏レイソル	東京ガスライブバル Day
5/28 (日)	ヴァンフォーレ甲府	東京商工会議所 Day
6/18 (日)	横浜F・マリノス	三菱電機 Day
7/8 (土)	鹿島アントラーズ	ローソン Day
7/26 (水)	サンフレッチェ広島	ルヴァンカップキッズイレブン
7/30 (日)	アルビレックス新潟	AIDEM DAY
8/13 (日)	ヴィッセル神戸	umbro Day
9/3 (日)	川崎フロンターレ	ルヴァンカップキッズイレブン
9/9 (土)	セレッソ大阪	AJINOMOTO Day
9/16 (土)	ベガルタ仙台	明治安田生命 Day
9/30 (土)	ジュビロ磐田	Teddy Bear Day, 2017 東京ドロンパ Birthday Party
10/21 (土)	北海道コンサドーレ札幌	りらいあコミュニケーションズの日
10/29 (日)	清水エスパルス	東京都民銀行 Day, HAPPY HALLOWEEN! in 味スタ
12/2 (土)	ガンバ大阪	ジーク Day, Big Thank you Day ~今年もありがとうございました~

## FC東京・市民スポーツボランティアとは

ホームゲームの運営などをサポートいただいているみなさんです。東京スタジアム(現 味の素スタジアム)のこけら落としでもあった2001年3月10日の開幕戦から活動をスタートさせ、17年目となりました。2016年からはFC東京U-23のホームゲームにもご参加いただき「スタジアム環境のさらなる充実」に向けてご協力いただいています。

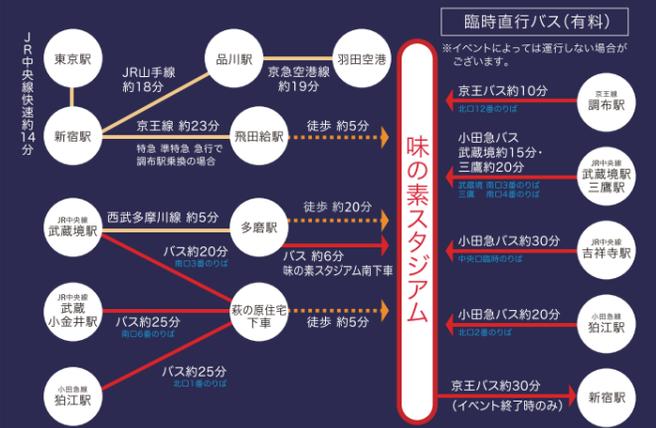


## 味の素スタジアムアクセス

新宿駅から飛田給駅まで京王線特急で約17分  
 京王線準特急で約19分  
 (飛田給駅臨時停車の場合)



## ■アクセス別所要時間



## スタジアムでは、たくさんのイベントを実施しました。

オリジナルグッズ付きの企画チケットやアトラクションなど様々なイベントを行いました。

## 小池百合子東京都知事来場

ホーム開幕戦となる3月4日 大宮アルディージャ戦では、小池百合子東京都知事に来場いただき、FC東京およびファン・サポーターへのメッセージと試合前の花束贈呈のセレモニーにご参加いただきました。



## 青赤横丁

ホームゲーム時に南側広場(アジパンダ広場)にて「青赤横丁」を開催。様々なイベントや自慢のスタジアムグルメをご用意し、ご来場者にお楽しみいただきました。



## ● マッチデーステージ

9月9日 セレッソ大阪戦では「東京から世界をめざして」をテーマに「マッチデーステージin青赤横丁」を開催し、ダンスショーやトークショーを披露しました。



## ジュンブライドチケット

6月18日 横浜F・マリノス戦にて、ピッチサイドでの観戦に限定のオリジナル婚姻届がついた「ジュンブライドチケット」を販売しました。購入者を対象にメッセージ入りのオリジナルレプリカユニフォームも合わせて販売を行うなど、お二人の婚約・結婚をより思い出深いものとしていただくための企画を実施しました。



## ● アトラクション

ひときわ大きく目立つのが「東京ドロンパふわふわ」。その他、子どもも楽しめるアトラクションを実施しました。



- 東京ドロンパふわふわで遊ぼう!
- みんなでサッカーをしよう!
- ジュニア/キッズ体験カート

## ● クラブスポンサーブース

展示やサンプリング、体験会など、FC東京のクラブスポンサーよりみなさまに役立つ情報をお届けするブースを出展。



## パブリックビューイング



アウェイで開催された、7月2日 セレッソ大阪戦を「秋葉原UDXビジョン」、9月23日 柏レイソル戦を「HOOTERS新宿西口店」にて、パブリックビューイングを開催。スタジアムに行けないファン・サポーターのみなさまに大画面での試合観戦を楽しんでいただき、FC東京を熱くサポートしていただきました。

## キッズクラブフェスティバル



7月16日に『2017キッズクラブフェスティバル presented by 森ビル』を開催。夏の日差しに負けず、選手と子どもたちが一緒にアトラクションを楽しみ、忘れられない一日となりました。



社会貢献活動



東日本大震災・熊本地震災災害 被災地復興支援 Jリーグ TEAM AS ONE 一斉募金

東日本大震災、熊本地震災復興支援を目的に、Jリーグ全クラブで「Jリーグ TEAM AS ONE 一斉募金」を実施しました。FC東京では、3月に開催したJ1リーグ戦1試合、J3リーグ戦1試合において、募金活動を行いました。



Jリーグ シャペコエンセ義援金募金

2016年11月の飛行機墜落事故で被害を受けたシャペコエンセ(ブラジル)への支援として、J1リーグ戦5試合およびルヴァンカップ1試合において「Jリーグ シャペコエンセ義援金募金」を実施。集まった義援金はJリーグより8月に来日したシャペコエンセへ渡されました。

2017シーズン選手招待シート

トップチーム所属の選手たちが地域に貢献したいという想いから、福祉施設のみならずサッカーが大好きな子どもたちをホームゲームにご招待しました。

平成29年九州北部豪雨災害に対する義援金募金

「平成29年九州北部豪雨災害に対する義援金募金」をJ1リーグ戦7試合において実施しました。集まった義援金は福岡県と大分県にそれぞれ寄付を行いました。

社会を明るくする運動への協力

更生保護の考え方に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動を、調布市と連携し告知活動を行いました。7月30日 アルビレックス新潟戦ではポスターの掲出や啓発映像の放映などを実施。また、サッカーを通じて子どもたちに夢を与え非行防止と健全育成に役立てることを目的として、7月15日に中学生のサッカー教室を開催しました。



少年少女観戦送迎バスツアー

東京都内在住の子どもたちを送迎バス付きでホームゲームに招待する「少年少女観戦送迎バスツアー」を実施。多くの企業・団体からCSR活動(企業の社会的責任)の一環としてご協賛いただきながら、子どもたちにサッカーの楽しさを伝え、夢を与えるお手伝いをしています。



「ECOパスプロジェクト in 味スタ」の実施

資源の有効活用を目的に帝人フロンティア株式会社と一緒にゴミの分別・ペットボトルの回収に取り組みました。今シーズンのペットボトル回収量は約6トンとなり、リサイクルして製造した素材を社会福祉法人東京コーニーにて加工・縫製したECOパスバッグも販売しました。



復興支援活動の継続実施

9月30日に復興支援映画「MARCH」の上映会を開催。また10月28日のJ3、翌29日のJ1ホームゲームではJリーグ、Jヴィレッジと連携して福島県復興支援ブースを出展。福島を今伝えるPR展示や、福島県産の野菜などの物産販売を実施しました。

子ども若者育成支援プロジェクトの実施

困窮過程にある子どもたちを対象に「子ども若者育成支援プロジェクト～サッカーでもっと子どもたちに広がる未来を～」を実施しました。試合観戦とともに、FC東京のスタッフによるキャリア教育の講義やスタジアムで働く人たちの様々な様子を見学して学びを深めました。



パラリンピック体験イベントの実施

2020年パラリンピック種目に認定されている「視覚障がい者5人制サッカー(通称:ブラインドサッカー)」を多くの方に知ってもらおうと、6月25日 J3リーグアスルクラロ沼津戦にてブラインドサッカー体験と競技用義足の体験イベントを実施しました。



「こころの東京革命」への協力

次代を担う子どもたちの心を育む「こころの東京革命」。3月18日 川崎フロンターレ戦において東京都青少年・治安対策本部と協力し、PR活動を行いました。



多様性を受け入れて お互い認め合おう

人権啓発活動への協力

8月13日 ヴィッセル神戸戦において、東京都総務局と協力し、人権問題に取り組む啓発活動を実施。啓発グッズの配布や室屋成選手・太田宏介選手が出演するメッセージ動画を、ハーフタイムに大型映像機で放映しました。



赤い羽根共同募金

10月21日 北海道コンサドーレ札幌戦において東京都共同募金会ならびに共同募金調布地区協会との協働で「赤い羽根共同募金の募金活動」を実施しました。トップチームの選手やFC東京U-15の選手、ミス・調布の方々とご来場者へ募金の呼びかけを行いました。



「#ちよいボラ」活動への協力

東京都生活文化局と協力し、ボランティア活動が気軽に身近なものであることをわかりやすく伝え、ボランティア活動に親しんでもらうための啓発活動「#ちよいボラ」のPRを、10月21日 北海道コンサドーレ札幌戦において行いました。



オレンジリボンキャンペーン

10月21日 北海道コンサドーレ札幌戦において、東京都福祉保健局の「オレンジリボンキャンペーン(児童虐待防止)」普及啓発活動に協力し、啓発グッズの配布や大型映像機での啓発アニメーション動画を放映しました。



ヘルプマーク 普及啓発活動への協力

援助を必要とする方々のために作られた「ヘルプマーク」。12月2日 ガンバ大阪戦において、東京都福祉保健局と協力し、普及啓発活動を実施しました。



国際交流活動



インドネシアへの短期指導者派遣

国際交流基金及びJリーグの事業に協力し、昨年に続き、年2回FC東京アカデミーコーチをインドネシア・ジャカルタに約1週間短期派遣し、地元の子どもたちへサッカーの指導を実施。また17歳のインドネシア国籍の選手3名をFC東京U-18の練習に受け入れました。



ASEAN DREAM PLAYERの受け入れ

アジア全体でのサッカーのレベルアップへの協力として、タイで開催された「U-14 ASEAN Dream Football Tournament 2016/17」の優秀選手の受け入れを行いました。2ヶ国3名の選手はFC東京U-18の練習に参加するほか、トップチームの練習見学や選手との交流を行いました。



独立行政法人国際協力機構との交流

クラブの国際化と社会貢献を目的に2014年からスタートした独立行政法人国際協力機構(JICA)との国際交流。今年は計30ヶ国71人の研修生を試合に招待しました。

BANGKOK UNITED FOOTBALL CLUB (タイリーグ1部)との提携

アカデミー所属選手の育成、トップチームの強化を目的とした交流、新規事業の開拓を目的とし、2017年3月にタイリーグ1部に所属する「BANGKOK UNITED FOOTBALL CLUB」と提携を実施。U-23タイ代表にも選出されたジャキット選手がFC東京に期限付き移籍加入、またアカデミーの選手2名がFC東京U-18の練習に1ヶ月間参加するなど、継続したクラブ間の交流を図っています。





# 育成・普及活動

## 育成ビジョン

FC東京は、トップチームへの優秀な選手を輩出するために、勝者のメンタリティを兼ね備え自立した選手を育成し、攻守に支配するサッカースタイルを確立します。



### 選手育成コンセプト

- S** Speed ..... スピード
- P** Personality ..... 人間性
- I** Insight ..... 洞察力・判断力
- R** Race ..... 競争
- I** Independence ..... 自立
- T** Technique ..... テクニック

### サッカースタイル

- A** Attack  
ボールと人が考えて動く、攻撃的パスサッカー
- T** Transition  
切り替え・ハードワーク
- C** Collective  
攻守にプレーが連続  
運動したコレクティブなサッカー
- P** Possession  
ポゼッション  
(ゴールを目指す・シュートで終わる)

## FC TOKYO FC東京アカデミー出身選手 ※2017シーズン在籍選手



## FC TOKYO U-18



- 平成28年度 第18回 東京都クラブユースU-17 サッカー選手権大会 優勝
- 第41回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会 優勝
- 高円宮杯U-18サッカーリーグ2017東京1部 4位
- 2017Jユースカップ第25回Jリーグユース選手権大会 ベスト8
- 高円宮杯U-18サッカーリーグ2017 プレミアリーグ EAST 優勝
- 高円宮杯U-18サッカーリーグ2017 チャンピオン シップ 優勝

## FC TOKYO U-15 深川



- 第24回東京都クラブユースサッカーU-14選手権大会 ベスト8
- 第32回日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会 ベスト32
- 2017年度 関東ユース (U-15) サッカーリーグ1部 準優勝
- 高円宮杯第29回全日本ユース (U-15) サッカー選手権大会 準優勝

## FC TOKYO U-15 むさし



- 第24回東京都クラブユースサッカーU-14選手権大会 優勝
- 第32回日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会 ベスト32
- 2017年度 関東ユース (U-15) サッカーリーグ2部 優勝 (1部昇格)
- 高円宮杯第29回全日本ユース (U-15) サッカー選手権 関東大会 ベスト4

## 2018年 トップチーム昇格選手



### 年代別日本代表



## サッカーを通じて子どもたちに自ら取り組む姿勢を身に付けてほしい!

FC東京では幼児から中学生までを対象としたサッカースクール、フットサルスクールを開校しています。女子限定スクールや知的障がい児向けのスクールも展開し、子どもたちにサッカーを通じて、多くの仲間と関わりながら自ら「考え」「取り組み」自分の人生をデザインしていく力を身につけていけるよう取り組みました。

## 2017シーズン サッカースクール



サッカーを通じてスポーツの楽しさを伝え、老若男女問わず気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに寄与しています。各地域の行政や学校とも連携・協力を図り、幅広い活動を行いました。



サッカースクール

都内21箇所(スタッフ派遣校6校を含む)で行われているサッカースクールには、約4,300名の子どもたちが在籍しています。サッカーを通じて子どもたちの人間的な成長を促し、トップチームの試合観戦やイベントを行いながら活動しています。



キャラバン隊

教育委員会と連携した「キャラバン隊」では、普及部コーチが小学校を訪問し、サッカーの楽しさを伝えるだけでなく、自分で考え行動できるような働きかけをしています。3回の授業を通じて子どもたちの自立心の成長が感じられる貴重な体験授業です。



キッズマッチ

味の素スタジアムでのホームゲーム前には、株式会社ジークにご協力いただき「キッズマッチ」を実施しました。プロの選手と同じピッチで、都内のジュニアチームやスクール生が元気いっしょにプレーしました。



障がいのある子どもたちのサッカー教室

一人でも多くの子どもたちがサッカーを通じて楽しく元気に育ってもらえるよう、知的障がいを持つ子どもたちを対象にサッカー教室を開催しました。  
・杉並区「きらきらサッカー教室」  
・世田谷区「わくわくサッカー教室」  
・調布市「にこにこサッカー教室」  
・FC東京あおぞらスクール



おとなのサッカー・フットサル教室

大人を対象とした「おとなのサッカー・フットサル教室」は、「観るスポーツ」としてだけではなく実際にプレーをすることで、より交流や理解を深めてもらう活動です。参加者の輪は年々広がり、今年は延べ2,300名の方にご参加いただきました。



FC東京サッカースクール卒業イベント

スクールを卒業する6年生を対象とした「FC東京サッカースクール卒業イベント」では、6年生の最後まで共にスクール生活を送ってきた仲間たちとの試合に加え、トップチームの選手とのふれあいも行われ、楽しい時間を過ごしました。



FC東京パーク府中

FC東京が運営するフットサル施設「FC東京パーク府中」では、スクール活動をはじめ各種サッカー・フットサルイベント、土日祝日にはFC東京普及部コーチによるフットサルイベントを実施。また、夏祭り、選手来場など様々なイベントを開催し、老若男女たくさんの方々にご来場いただきました。



指定管理者

FC東京は上井草スポーツセンター、小金井市総合体育館、小金井市栗山公園健康運動センター、妙正寺体育館の指定管理者として、各施設の管理・運営を行っています。サッカー・フットサルスクール、バレーボール教室、職場体験や地域への講師派遣など、多様な形でみなさまと交流を図りながら、地域社会に貢献していきます。



# バレーボールチーム

東京ガスバレーボール部を前身とし、1986年地域リーグ(東部)に初参戦。1998年V1リーグに昇格。2003年「FC東京バレーボールチーム」へ移行し、2009年V・チャレンジマッチ(入替戦)に勝利し、V・プレミアリーグ昇格。



## 活動方針

### 1 バレーボールを通じた地域貢献

バレーボールを通じて青少年の健全な心身の育成および都民各層の健康や喜びづくりに寄与し、豊かなスポーツ文化の振興に貢献します。

### 2 バレーボールの普及と発展

バレーボールの競技人口拡大とレベルの向上を図り、生涯スポーツとしてバレーボールを楽しめる環境づくりに努めます。

### 3 自立した個人の集団の創造

常に勝利を目指す自立したトッププレイヤーの集まりであると同時に、社会人としてそれぞれが持つ仕事・責任を全うする「バレーボールと仕事を両立する集団」のロールモデルとなることを目指します。



## 2016/17シーズンの戦績



### 2016/17 V・プレミアリーグ男子順位表

順位	チーム名
1位	東レアローズ
2位	豊田合成トレフェルサ
3位	ジェイテクトSTINGS
4位	サントリーサンパーズ
5位	パナソニックパンサーズ
6位	堺ブレイザーズ
7位	JTサンダーズ
8位	FC東京

- 平成28年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 ベスト8
- 第66回 黒鷲旗 全日本男女選抜大会 ベスト8

## 普及活動

「バレーボールを楽しむ、もっと好きになる」「チャレンジする」をコンセプトに、FC東京バレーボールチームの選手たちによる「バレーボール教室」を2002年から開催。

基本プレーを中心に、子どもたちの世代ごとの発育・発達を考慮した技術指導を行っています。

2017年度は、東京都内の中学生～高校生を対象に6回実施、866人が参加しました。また、18歳以上の女性が対象の「駒沢バレーボールコミュニティ」や「小金井バレーボールスクール」、小学生を対象とした「墨田バレーボール教室」など、FC東京バレーボールチーム指導専門スタッフによるレッスンも定期的実施。その他、指導専門スタッフがチームの練習場へ赴き実地指導をする、出張指導も行っています。



### 2017年度 バレーボール教室開催報告

開催名称	開催日	場所	参加人数
杉並区中学生バレーボール教室	7月23日(日)	宮前中学校体育館	75人
第1ブロック中学生バレーボール教室	7月30日(日)	立正大学付属立正中学校・高等学校体育館	218人
第9ブロック中学生バレーボール教室	8月2日(水)	府中市立府中第六中学校体育館	195人
第6ブロック中学生バレーボール教室	8月3日(木)	TG深川体育館	177人
東村山市中学生バレーボール教室	8月5日(土)	日体桜華高等学校体育館	172人
東京都高校生男子バレーボールセミナー	8月17日(木)	東京体育館	29人

## 練習場

東京フットボールクラブ株式会社  
〒135-0003 江東区猿江2-15-10  
東京ガス深川グラウンド内  
TG深川体育館



## チームマスコット

FC東京のオフィシャルマスコット、東京ドロンパ。その高い身体能力を活かしてピッチ内外でスタジアムを盛り上げます!!

### 愛称「東京ドロンパ」

1998年10月1日、港区麻布狸穴町(まみあなちょう)で生まれる。六本木と東京タワーのほぼ真ん中に位置する狸穴町、いわゆる生粋の都会っ子である。遊び場はもちろん噴水の素敵な狸穴公園。知らぬ間にパッと現れ、ドロンといなくなることから、いつしか仲間から「東京ドロンパ」と呼ばれるようになった。東京タワーのそばに棲んでいるドロンパだから、<東京ドロンパ>というわけである。狸の世界では誰もが認める東京ファンである。そんな彼にオフィシャルマスコット招聘のオファーが届き、チームマスコットとなった。2017年はイギリスのサッカー専門誌からも注目を浴び、国内外にFC東京の魅力を発信している。



## 2017シーズンクラブスポンサー

